

～ 先輩からの声 ～



小原 愛

2020年入庁

人 事 課

志望動機

大学卒業後は民間企業で働いていましたが、営業利益の追求ではなく、地域の発展やそこで生活をする人々の暮らしを支える仕事に携わりたいと思い公務員の仕事に興味を持ちました。中でも、生まれ育った馴染みのある土地である宇陀市の地域発展に貢献し、より住みよい街づくりをしてみたいと考え、宇陀市を志望しました。

担当業務

入庁して1年目は主に職員の福利厚生に関する仕事をしていました。具体的には、共済関係事務や公務災害の申請等が挙げられます。共済事務では、宇陀市で働く正規職員の健康保険証の発行や、共済組合への掛金負担金などの支払い事務を担当していました。本年度からは会計年度任用職員の任用や健康保険証の発行・雇用保険への加入手続き等にも携わっています。

やりがいについて

人事課では業務を通して宇陀市で働く職員と関わる機会が多くあり、さまざまな刺激を得ることのできる職場だと感じています。多くの人と関わることで、新たな発見や視野を持つことに繋がり、自身の成長にも繋がっていると感じます。また福利厚生に関わる仕事を通して、職員一人ひとりのサポートに少しでも携われているという点でやりがいを感じます。

市職員のイメージは

入庁前は、住民票の発行や年金の手続きなど、窓口対応業務を行っているイメージが強くありました。入庁後現在の仕事に携わる中で、窓口業務以外にも「こんなことまでしていたのか」と思うような分野にも携わることがあり、その仕事の範囲が多岐に亘っていると感ずることが多くあります。人事異動や係替えによって全く違う分野に携わることもあり、さまざまな経験や知識を得ることができる職業だと思っています。

受験者に向けて

試験や面接など、肩に力が入るようなことが多いと思いますが、今までの経験や自分自身の考えを活かして、自然体で臨むとより気持ちが伝わりやすいのではないかと思います。また公務員という職業では、その地域の人と密接に関わることの多い仕事だと思っていますので、名所や行事など、地域の魅力に目を向けてみるのもいいかなと思います。